

製品名: TLR7 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82812**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	120kDa

抗原情報

遺伝子名	TLR7
別名	IMD74; TLR7-like
遺伝子 ID	51284.0
SwissProt ID	Q9NYK1
免疫原	大腸菌で発現したヒト TLR7 (AA: 420-644) の精製された組み換え断片。

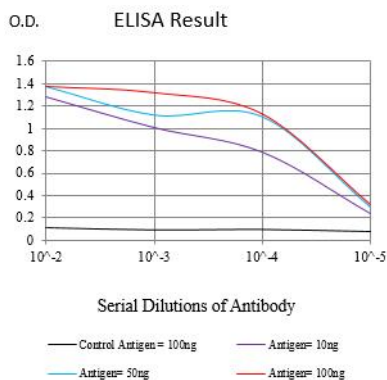
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、病原体認識と自然免疫の活性化において重要な役割を果たす Toll 様受容体 (TLR) ファミリーのメンバーです。TLR はショウジョウバエからヒトに至るまで高度に保存されており、構造的および機能的な類似性を共

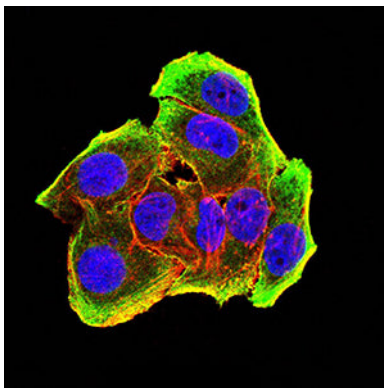
有しています。ヒト TLR ファミリーは 11 のメンバーで構成されています。これらは感染性因子上に発現する病原体関連分子パターン (PAMP) を認識し、効果的な免疫の発達に必要なサイトカインの産生を媒介します。外来微生物の構成成分を認識するために、様々な TLR はそれぞれ異なる発現パターンを示します。例えば、TLR-3、-7、-8 は一本鎖 RNA ウイルスの認識に不可欠です。TLR7 は、RNA ウイルス由来のグアノシンおよびウリジンに富む配列を含む一本鎖 RNA オリゴヌクレオチドを感知します。この認識は、形質細胞様樹状細胞および B 細胞のエンドソームで行われます。この遺伝子は主に肺、胎盤、脾臓で発現し、系統的に関連があり、X 染色体上の別のファミリーメンバーである TLR8 と近接して位置しています。

研究分野

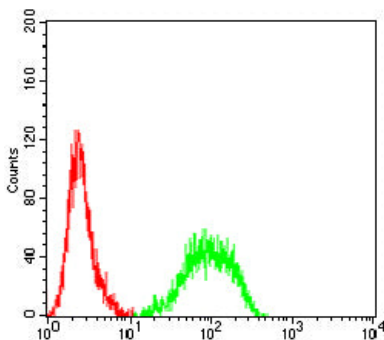
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



TLR7 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



TLR7 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。